

● 世界の主な火山活動

平成 24 年（2012 年）4 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。

ポポカテペトル（メキシコ）（図中 A）

4 月中旬ごろから活動が活発化し、以降、消長を繰り返しながら連日にわたり火山灰や灼熱した岩塊の放出が報告されている。

11 日から時々火山灰を含む噴煙が上がり、12 日の噴火では多量の火山灰が放出された。13 日には地震活動が活発化し、同日夜の噴火では灼熱した岩塊の放出が見られた。また、噴煙は火口上 2km に達し、翌日には火口から東に 50 km 離れた町をはじめ、多数の町で火山灰が報告された。16 日の噴火では噴煙が再び 2km まで上がった。18 日の噴火では、灼熱した岩塊が雪上に落下し、小規模な火山泥流が発生した。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館の GVP（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）

